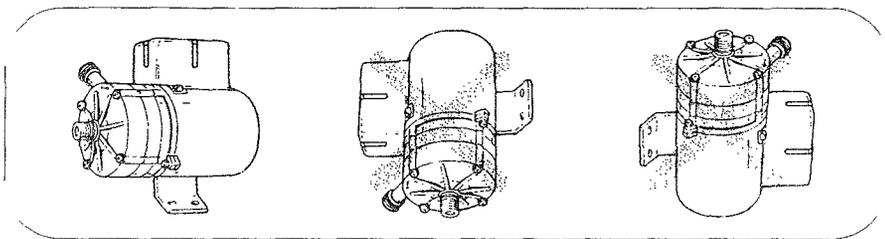


型 式	口 径		性 能	出 力	電 圧
	ホース	ネジ	l / min	w	v
IFP111	15mm	3 / 8	1-10	15	100
IFP311	15mm	1 / 2	2-13	30	100
IFP611	20mm	3 / 4	4-20	100	100

据付姿勢はポンプの吸込口が横になるように設置してください。吸込口が上又は下の方向はさけてください。



■ 運転のしかた

配管内のエアを抜いた後、吐出側を全閉にして電源を入れ、吐出側を徐々に開けて下さい。

■ 脱調現象について

通常は、モーター側のマグネットとポンプ側のマグネットが一体で回転しますが、万一ポンプに固形物などが入りインペラが回転しなくなった場合には、ポンプは停止してもモーターは正常に回転します。

このような現象が生じたときには、一度電源を切り、ポンプに異常がないか調べた後、再度運転をして下さい。

取 扱 説 明 書

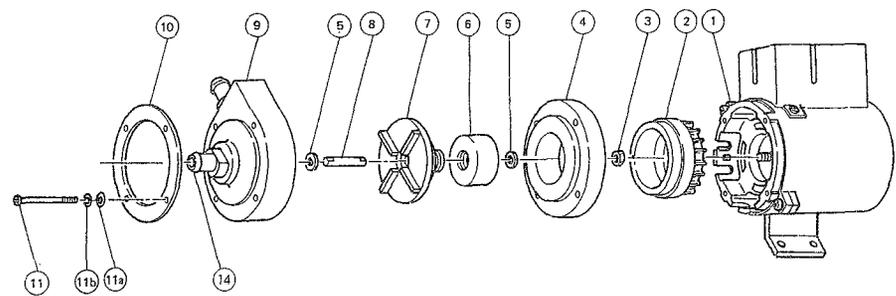
I F P 型

据付上の注意事項

- 警告**
専門業者
 配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って、安全・確実に行うこと。誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。
- 電源コード 傷付禁止**
 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないこと。また重い物を載せたり挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災 感電の原因となります。
- アース工事**
 アースを確実に取付け、専用の漏電遮断器を設置すること。故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取付けは販売店にご相談ください。
- 注意**
空運転禁止
 空運転（ポンプに水のない状態での運転）はしないこと。ポンプの軸封装置の寿命を縮め、水漏れの原因となります。
- 燃焼物禁止**
 ポンプに毛布や布などをかぶせないこと。加熱して発火することがあります。
- 防水処理**
 床面が防水処理・排水処理されているか確認すること。水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。

3. 故障と対策について

状態	原因	対策
モーターが回転しない	回路に電気がきていない	通電させる
	モーターのコンデンサー不良・断線	不良箇所を修理、取替え（テスターを使用）
	配線の不良・断線	点検
定格回転数がない	モーターのコンデンサー不良	取り替え
	電圧が低下している	点検
モーターは回が、吐出量が少ない	ポンプ内にエア－だまりができています	エア－抜きをする
	吸込口からエア－を吸こんでいる	ホースを良くしめつける
	吸込みホースがつぶれている	つぶれないホースに取り替える
液もれする	ケーシングの損傷	新品と取り替え
	ボルトの締めつけ不良	ボルトを正確に締めつける



分解図と名称

1	モーター部		8	ポンプ軸	セラミック
2	駆動マグネット		9	ポンプケーシング	PTFE
3	ナット	S.S	10	ポンプ取付座板	SUS
4	リアケーシング	PTFE	11	ポンプ取付ボルト	SUS M4
5	スラスト軸受	セラミック	12	バネ座金	SUS M4
6	インベラーマグネット	PTFE	13	平座金	SUS M4
7	羽根車	PTFE	14	ホースニップル	PTFE

《はじめに》

このたびテフロンシールレスポンプをご採用いただきありがとうございます。

このポンプは優れた性能を持っており、その使用、取扱い方法は常に正しく行なわれなければなりません。

実際の使用にあたってはこの取扱い説明書をご精読いただきテフロンシールレスポンプの能力を充分にご活用くださいますようお願い申し上げます。

《特 徴》

(◎完全無漏洩 ◎ノーメンテナンス ◎耐蝕性抜群 ◎小型で高性能)

テフロンシールレスは従来のポンプの最大の難点とされておりましたグランドパッキン、オイルシールあるいはメカニカルシールなどの軸封装置よりの漏れをなくするため、多年の研究により開発された画期的なケミカル用うず巻ポンプです。

すなわちその構造はいままでの軸封装置に相当するものがなくポンプとその動力源であるモーターとはテフロンで完全に遮断、分離されおり動力の伝達はポンプおよびモーターに設けられた永久磁石によって磁力伝達されます。このように原理的にまったく漏洩する要素がなく、また耐蝕性についてもポンプケーシングと羽根車にはテフロンを採用しております。その他、より小型、軽量化を目指し構造を簡素化して取扱い、保守、点検を容易にするなどいままでの皆様方のご要望に必ずや応じ得る製品であると確信致しております。

1. 据付けるまえに

ポンプが届きましたらご注文どうりの型式かどうか特に相数・電圧・周波数が同じかどうか、あるいは輸送中の事故で破損していないか、ボルト類がゆるんでいないかなどをお調べ下さい。

〈御注意〉

- (イ) いかなる場合でも、空運転は絶対避けて下さい。
- (ロ) 使用できる液温は80℃までです。
- (ハ) 鉄、ニッケル等の粉末を含む液体は使用できません。
- (ニ) スラリー液の取扱いは、ポンプの寿命が短くなりますので出来るだけ避けて下さい。

2. 据付け

配管についての御注意

ホース接続… 111型、311型は15φ 611型は20φ

パイプ配管… 111型は3/8 311型は1/2 611型は3/4

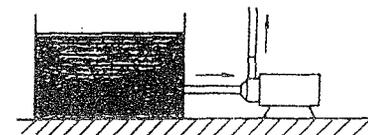
ホースアダプターをつけた場合はホース接続

ホースアダプターをはずした場合はパイプ配管可能となります。

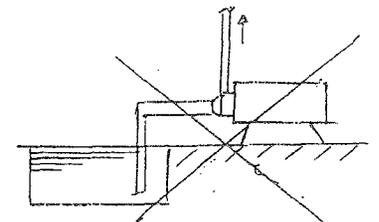
- ①ポンプは必ず固定取付けして下さい。
- ②配管は出来るだけ損失や抵抗のないようにして下さい。
- ③ポンプ出口配管は無理な引張りを避けて下さい。
- ④簡単に取外し分解ができるようにポンプ出入口配管部に継手をご利用下さい。
- ⑤ホースを接続する場合は、耐蝕性のあるテフロンホースなどを用い、抵抗を少なくするため、できるだけ短く、曲がりの箇所も少なくして下さい。
- ⑥ホースの接続部分はホースバンドでしっかりと締めつけ、液もれや、空気を吸い込んだりしないようにして下さい。
- ⑦なお、ホースはホース内の圧力が下がってもつぶれないようなブレードホースなど使用して下さい。
- ⑧冬期薬液が凍結しないようにポンプ及び配管に保温処置をして下さい。(市販の保温材に、ガラスウール、ウレタンフォームなどがあります)
- ⑨シールレスポンプは渦巻ポンプですから自吸しません。

A) 押し込み方式の場合 (図1)

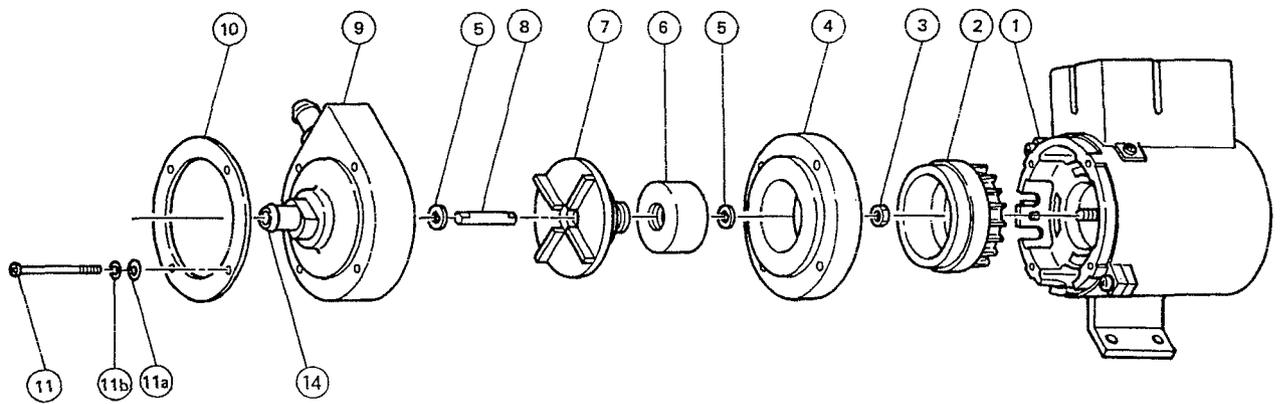
シールレスポンプの場合、この方式が一番適しています。吸込み側の液面がポンプより上になるようにし、常にポンプ内が満水であるようにしておきます。このポンプは自吸式ではありませんので汲上水位より同等若しくは以下で設置して下さい。



正しい使い方



悪い使い方



分解図と名称

1	モーター部		8	ポンプ軸	セラミック
2	駆動マグネット		9	ポンプケーシング	PTFE
3	ナット	S.S	10	ポンプ取付座板	SUS
4	リアケーシング	PTFE	11	ポンプ取付ボルト	SUS M4
5	スラスト軸受	セラミック	12	バネ座金	SUS M4
6	インベラーマグネット	PTFE	13	平座金	SUS M4
7	羽根車	PTFE	14	ホースニップル	PTFE

取扱説明書

IFP型

据付上の注意事項

警告



専門業者

配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って、安全・確実に行うこと。誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。



アース工事

アースを確実に取付け、専用の漏電遮断器を設置すること。故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取付けは販売店にご相談ください。



電源コード
傷付禁止

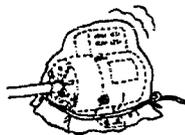
電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないこと。また重い物を載せたり挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

注意



燃焼物禁止

ポンプに毛布や布などをかぶせないこと。加熱して発火することがあります。



空運転禁止

空運転（ポンプに水のない状態での運転）はしないこと。ポンプの軸封装置の寿命を縮め、水漏れの原因になります。



防水処理

床面が防水処理・排水処理されているか確認すること。水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。

《はじめに》

このたびテフロンシールレスポンプをご採用いただきありがとうございます。

このポンプは優れた性能を持っており、その使用、取扱い方法は常に正しく行なわれなければなりません。

実際の使用にあたってはこの取扱い説明書をご精読いただきテフロンシールレスポンプの能力を充分にご活用くださいますようお願い申し上げます。

《特 徴》

(◎完全無漏洩 ◎ノーメンテナンス ◎耐蝕性抜群 ◎小型で高性能)

テフロンシールレスは従来のポンプの最大の難点とされておりましたグランドパッキング、オイルシールあるいはメカニカルシールなどの軸封装置よりの漏れをなくするため、多年の研究により開発された画期的なケミカル用うず巻ポンプです。

すなわちその構造はいままでの軸封装置に相当するものがなくポンプとその動力源であるモーターとはテフロン隔壁で完全に遮断、分離されており動力の伝達はポンプおよびモーターに設けられた永久磁石によって磁力伝達されます。このように原理的にまったく漏洩する要素がなく、また耐蝕性についてもポンプケーシングと羽根車にはテフロンを採用しております。その他、より小型、軽量化を目指し構造を簡素化して取扱い、保守、点検を容易にするなどいままでの皆様方のご要望に必ずや応じ得る製品であると確信致しております。

1. 据付けるまえに

ポンプが届きましたらご注文どうりの型式かどうか特に相数・電圧・周波数が同じかどうか、あるいは輸送中の事故で破損していないか、ボルト類がゆるんでいないかなどをお調べ下さい。

〈御注意〉

- (イ) いかなる場合でも、空運転は絶対避けて下さい。
- (ロ) 使用できる液温は80℃までです。
- (ハ) 鉄、ニッケル等の粉末を含む液体は使用できません。
- (ニ) スラリー液の取扱いは、ポンプの寿命が短くなりますので出来るだけ避けて下さい。

2. 据付け

配管についての御注意

ホース接続…111型、311型は15φ 611型は20φ

パイプ配管…111型は3/8 311型は1/2 611型は3/4

ホースアダプターをつけた場合はホース接続

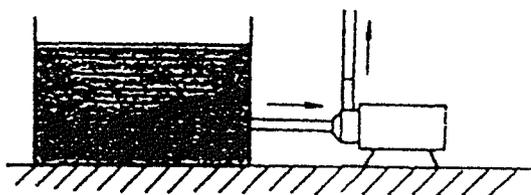
ホースアダプターをはずした場合はパイプ配管可能となります。

- ①ポンプは必ず固定取付けして下さい。
- ②配管は出来るだけ損失や抵抗のないようにして下さい。
- ③ポンプ出口配管は無理な引張りを避けて下さい。
- ④簡単に取外し分解ができるようにポンプ出入口配管部に継手をご利用下さい。
- ⑤ホースを接続する場合は、耐蝕性のあるテフロンホースなどを用い、抵抗を少なくするため、できるだけ短く、曲がりの箇所も少なくして下さい。
- ⑥ホースの接続部分はホースバンドでしっかりと締めつけ、液もれや、空気を吸い込んだりしないようにして下さい。
- ⑦なお、ホースはホース内の圧力が下がってもつぶれないようなブレードホースなど使用して下さい。
- ⑧冬期薬液が凍結しないようにポンプ及び配管に保温処置をして下さい。（市販の保温材に、ガラスウール、ウレタンフォームなどがあります）
- ⑨シールレスポンスは渦巻ポンプですから自吸しません。

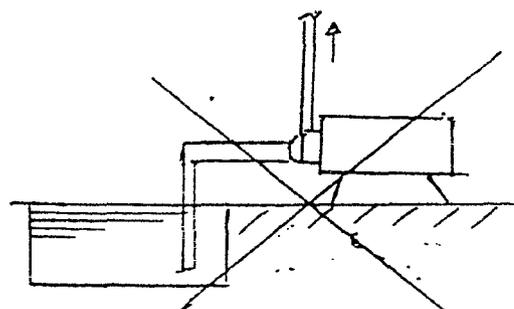
A) 押し込み方式の場合（図1）

シールレスポンスの場合、この方式が一番適しています。吸込み側の液面がポンプより上になるようにし、常にポンプ内が満水であるようにしておきます。

このポンプは自吸式ではありませんので汲上水位より同等若しくは以下で設置して下さい。



正しい使い方



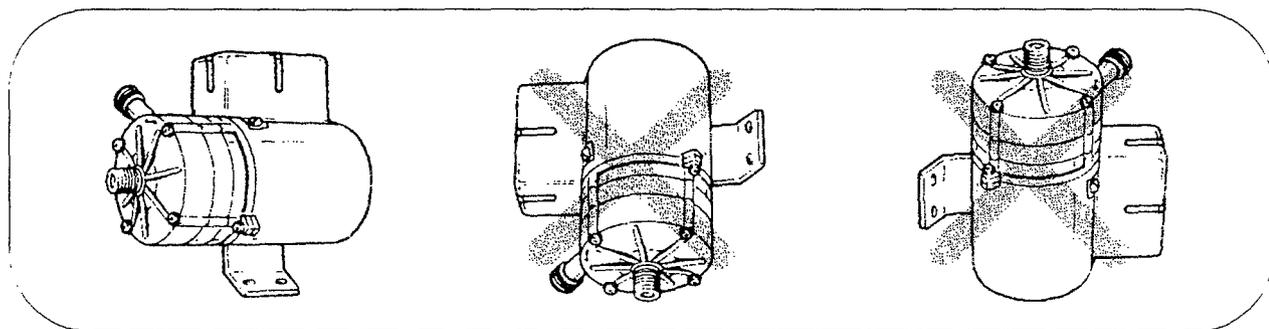
悪い使い方

3. 故障と対策について

状 態	原 因	対 策
モーターが回転しない	回路に電気がきていない	通電させる
	モーターのコンデンサー不良・断線	不良箇所を修理、取替え（テスターを使用）
	配線の不良・断線	点検
定格回転数がでない	モーターのコンデンサー不良	取り替え
	電圧が低下している	点検
モーターは回が、吐出量が少ない	ポンプ内にエア－だまりができています	エア－抜きをする
	吸込口からエア－を吸こんでいる	ホースを良くしめつける
	吸込みホースがつぶれている	つぶれないホースに取り替える
液もれする	ケーシングの損傷	新品と取り替え
	ボルトの締めつけ不良	ボルトを正確に締めつける

型 式	口 径		性 能	出力	電圧
	ホース	ネジ	l / min	w	v
IFP111	15mm	3 / 8	1-10	15	100
IFP311	15mm	1 / 2	2-13	30	100
IFP611	20mm	3 / 4	4-20	100	100

据付姿勢はポンプの吸込口が横になるように設置してください。吸込口が上又は下の方向はさけてください。



■ 運転のしかた

配管内のエアを抜いた後、吐出側を全閉にして電源を入れ、吐出側を除々に開けて下さい。

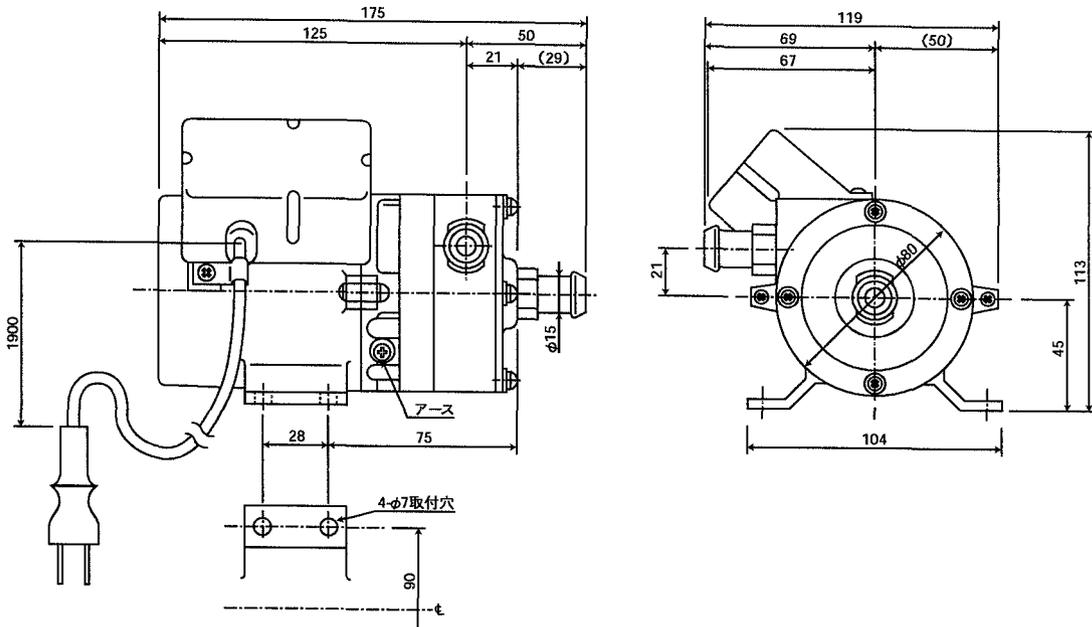
■ 脱調現象について

通常は、モーター側のマグネットとポンプ側のマグネットが一体で回転しますが、万一ポンプに固形物などが入りインペラが回転しなくなった場合には、ポンプは停止してもモーターは正常に回転します。

このような現象が生じたときには、一度電源を切り、ポンプに異常がないか調べた後、再度運転をして下さい。

■テフロンマグネットポンプ 1-849-01

■外形寸法図



■性能曲線

